

# サポクラ 通信

令和4年(2022年)6月号

今月の内容は...

- ・おいしいみどり .....1
- ・ゾウの骨格標本について .....5
- ・ミーアキャットについて .....9
- ・ホッキョクから .....12

円山動物園サポートクラブのみなさんこんにちは。

エゾユキウサギ、スンドスローロリス担当の飯島です。

またまた担当が少しだけ変わりました！

引き続き、よろしくお願いいたします。

今回のサポクラ通信では、春から夏にかけてしか取れない

## <おいしいみどり>

について皆さんにご報告したいと思います！

厳しい冬が終わり、新緑が眩しい季節になりました。

円山動物園周辺の山々も青々と葉が茂っています！

さて、<おいしいみどり>とは何かというと…

## 野草

です！！！！

円山動物園は豊かな自然に恵まれており、様々な野草が生えています。

例えば、ヨモギやタンポポ、クローバー等、動物たちの大好物なのです！

野草以外にも、木の葉も大好きで、様々な動物が食べています。

今回は、動物たちに野草を給餌している様子をご紹介します。

## 【エゾユキウサギ】

野生のエゾユキウサギは、春～秋にかけてたくさんの植物を食べています。

冬の厳しい時期には食べるものが少なくなってしまうので、

春に芽吹く新芽は、ユキウサギにとって貴重なごちそうなのです。



野草のなかでも、特に好きなのは…<スギナ>！

家庭菜園や、お庭に花を植えている方にとっては厄介者ですが、

ユキウサギはこのスギナが大好き！

いつもキリンの屋外放飼場横の斜面で採取しています！



←こんなにたくさんとれました！約5kg！

この量を1日で食べきってしまいます！

スギナ以外にもいろいろな野草を与えています。



↑エゾノギシギシを頬張っています。エゾノギシギシは、人間も家畜もあまり食べない植物ですが、ユキウサギには人気なようです。



←フキノトウはあまり人気がなく、外側の葉部分だけ食べていました。ユキウサギたちも個体によって好き嫌いがあるようです。

### 【モルモット】

モルモットは、野草が大好きです！

ネズミの仲間というと、ヒマワリの種などを食べるイメージがありますが、

モルモットの主食は、なんと<草>なのです！

円山動物園では、通年乾草を給餌していますが、

春から夏にかけて、ユキウサギに給餌する野草をおすそ分けしています。



←これはタンポポを給餌しています。

花、葉、根、余すところなくきれいに食べきります！



←これはヤナギの枝を給餌したところです。

一目散に寄ってきて食べ始めます。

## 【オグロプレーリードッグ】

ネズミの仲間、その②！オグロプレーリードッグも、草が主食の動物です。

普段はモルモットと同じように、乾草を給餌していますが、やっぱり野草が大好き！



←これは、ハルニレの剪定した枝を与えています。野草以外にも、ヤナギなど、樹木をたくさん給餌しています。樹木をかじることによって、歯の伸びすぎも防止しています！

このように、動物の食性に合わせてエサを変えることで、

その動物に適した栄養状態を保つことができます。

また、1年中同じエサではなく、季節に応じて変化をつけることで、動物たちもエサを食べる楽しみが生まれるのではないかと思います。

野草を取りに行くのはちょっと大変ですが、

動物たちのため、

これからも<おいしいみどり>をあげつづけたいと思います！

# ゾウの骨格標本について

サポートクラブのみなさま初めまして！

今年度からアジアゾウ担当となりました篠原です。

人生で初めて訪れた円山動物園でゾウの花子に衝撃を受けましたが、そんなゾウの担当になるのは何か不思議な縁を感じます。

そんな花子ですが、現在円山動物園の動物科学館で骨格標本として見る事ができるのはご存じでしょうか？

実際の骨格標本がこちら！



「本当にゾウ？」と思われるかもしれません。

大きな耳も長い鼻もありませんが、決して無くなったわけではありません。

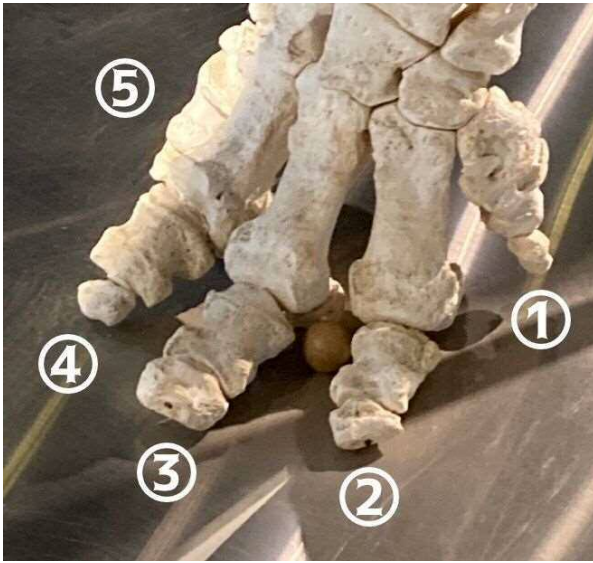
そもそも、ゾウの鼻と耳には骨が入っていないためこれがゾウの骨格標本としての正しい姿なのです。

見てみると他にも様々な発見をすることができます。

例えばゾウの指が何本あるかご存じでしょうか？

普段見ていると太い一本の円柱状をしています但实际上の骨を見てみると・・・

## ゾウの骨格標本について



少しわかりにくいですが、実は前後肢どちらも5本ずつあります。

しかし、後肢の第一指（ヒトでいうところの親指）は退化しており、少し確認しづらくなっています。

更に、意外なことにゾウはかかとを地面につけず、つま先立ちの状態です。

私たちでいえば常にハイヒールを履いている状態ですが、かかとの下に軟化した組織が入っており、クッションの役割を果たしています。



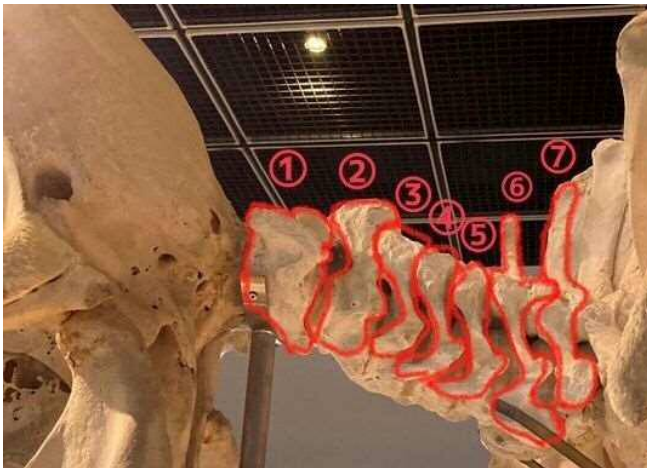
私たちヒトの骨格や、動物科学館にある他の動物の骨格と見比べてみても発見があります。

私たちヒトの頸椎（首の骨）は7つありますが首の短いゾウや、長いキリンはいくつあるでしょう？

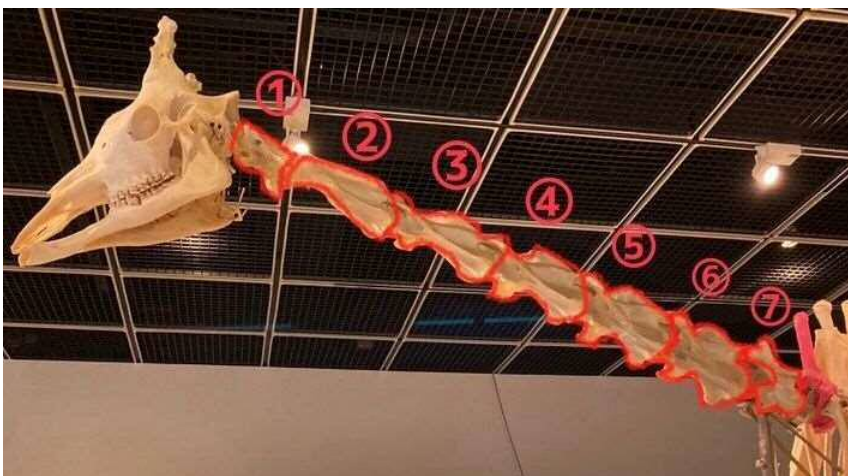
# ゾウの骨格標本について



私たちと同じ霊長類のオランウータンも



首の短いゾウも



首の長いキリンも

実はみんな同じ7つです。

基本的に哺乳類は7つになっています。しかし、爬虫類には8つあるものもい



## ゾウの骨格標本について

れば、両生類は1つのみだったり・・・

そもそも虫は体の中に骨はなく、同じ哺乳類でもミツユビナマケモノは8～10個と、同じ種でも個体によってばらつきがあるなど、動物によってさまざまです。

このように動物は亡くなった後も私たちに沢山のことを教えてくれます。また、標本として来園者の方々に見える形で残しておくことで、動物園の役割でもある教育に大きく貢献してくれています。

次回、円山動物園にいらした際は、是非、動物科学館にいる動物たちも見に来ていただければと思います！



ゾウ舎にいる4頭のゾウにも是非会いに来て下さい！



サポートクラブ会員の皆様初めまして。ミーアキャット、ダチョウ、ハダカデバネズミ担当の千葉です。  
今回はミーアキャットについてご紹介させていただきたいと思います。

## ミーアキャットとは？

体長約25cm～31cm、体重約620～970g。  
腹部は短い毛、背中柔らかく長い毛で被われており、黒い10本ほどの縞模様が入っています。  
アフリカの南部に生息し、石や岩の多い荒地やサバンナで地中に直径10cm程の巣穴を掘って生活しています。  
基本的に群れで行動し、複数の家族と一緒に生活する事もあります。

## ミーアキャットは猫ではない？

実はミーアキャットはマングース科の動物で猫とは全く関係ありません。  
では、なぜこのような名前が付いたのでしょうか。  
これだ、と断定できる資料が無いので一番有力な説をご紹介します。  
元々ミーアキャットという言葉は英語ではなくアフリカの言語が由来です。

「mire(シロアリの)kat(マングース)」という意味で野生のミーアキャットがシロアリを食べたり、蟻塚と呼ばれるシロアリの巣の上に立っている姿が見られることからこの名が付いたとされています。そして見ていただくと分かるように、ミーアキャットの「kat」と猫を意味する「cat」は綴りが違うことから全く別の言葉であることがお分かりになるかと思います。

さらに、ミーアキャットが敵を警戒する時には「ワンッワンッ」と犬のような鳴き声を発するのも猫とは似ても似つかない面白いところですので、是非とも一度聴いてみてはいかがでしょうか。

## どうしてミーアキャットは立つの？

ミーアキャットといえば、2本足で立っている姿を思い浮かべる人が多いかと思います。では、これには一体どのような意味があるのでしょうか。

まず一つ目の理由は日光浴をするためです。アフリカの砂漠に近い環境に住んでいるならば年中暖かいからわざわざ体を温める必要はないのでは？と考えるかもしれませんが、砂漠は昼夜の気温差がとても激しく夜間は気温が一桁、場合によっては氷点下まで下がることもあります。そのため太陽が昇ると日光浴で体を温めて活動しやすくする役割があります。では、飼育されている個体はどうでしょうか。それこそ夜も暖かいところで過ごしているから不要ではないかと思われるかもしれませんが、彼らにとって日光浴は身体のスイッチを入れるために必要不可欠であり、免疫力の向上や新陳代謝を促すためにも有効なのです。

もう一つは天敵対策です。彼らは前述のような環境で暮らしているため、隠れるための背の高い草木がほとんどありません。そのためどれだけ早く敵を見つけて巣穴に逃げられるかがカギとなります。ですから少しでも目線を上げて遠くまで状況把握できるように立っているといわれています。



## 最後に

いかがでしたでしょうか。まだ他にも書ききれなかった魅力がたくさんあります。この記事を読んで少しでも、もっと知りたい、実際に見てみたいと感じていただければ幸いです。



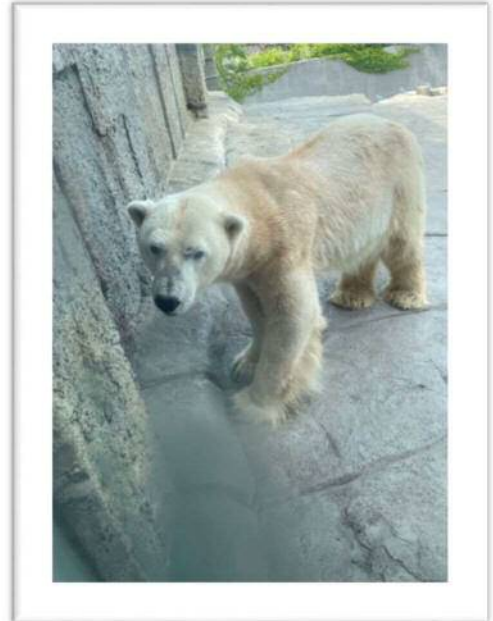
# ホッキョクから

円山動物園サポートクラブのみなさま、こんにちは。ホッキョクグマとアザラシ担当の鳥居です。  
ホッキョクから、動物たちの近況をお話しします。

まずはホッキョクグマ3頭です。

今年12月で29歳となる**デナリ**(雄)は去年よりも体格はバッチリです。夏毛への換毛はのんびりとしていますが、今年の夏を元気に過ごせるように頑張りましょうね～。

**ララ**(27歳、雌)は、綺麗に換毛して真っ白になりました。「シロクマ」なんだなぁとしみじみ感じています。気持ち去年よりも活発に活動していて、夏も元気に乗り越えられそうです。新しく設置した青竹に餌を入れると、器用に前足をかけて餌を食べています。誰に教わったのか…ララは本当に賢いです。



上目使いが上手なデナリ



青竹とララ

**リラ**(7歳、雌)は、去年の冬からたくさん食べさせていたので、少しぼっちゃり気味になってしまいました。今は夏に向けて減量中です！寄付してくださった新しい遊具でたくさん運動してもらっています。



プールから勢いよく突進！なりラ

次に、アザラシたちの様子をお伝えします。ゴマフアザラシたちは今年繁殖のために、雌雄同居を続けました。無事に交尾が確認できたのですが、生まれてくるのは来年の2月以降…。それまでにしっかり準備をしていきます。アザラシにとっては初めての繁殖なので、どんな結果になるか。乞うご期待です。

ゼニガタアザラシのジージー(33歳、雌)は、春先に体調が安定したことからホッキョクグマ館に移って初めて広いプールに出ることが出来ました。短期間でしたが、プールで休んだり遊んだりして満喫してくれました。6月に食欲の低下が見られたため療養に入りましたが、秋頃にまた展示できるようケアしていきますので、みなさま少々お待ちください～。



寝るジージー、遊ぶジージー

今年の夏も猛暑が予想されています。札幌とはいえ、夏はホッキョクグマ・アザラシにとって辛い時期です。同じく、野生のホッキョクグマ・アザラシたちにとっても厳しい夏。

地球温暖化が、私たちが実感するくらい深刻化しているのは間違いないです。社会全体が変わらなければ解決しない課題ですが、だからといって何もしなくてもいいわけではありません。私たちが出来ることを少しずつ行動に移していきましょう。

円山動物園からは、小学校への環境教育活動やイベントを通して、動物たちの情報を発信していきます。今後の活動についてもご注目いただければ幸いです。